



キツリフネソウ
霧ヶ峰 八島湿原にて
柴田 伸治さん

尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 水谷 龍雄
〒491-0815 一宮市千秋町塩尻字山王7-5
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2026年2月 NO.453

2025年12月現在 友の会員数 4,883(内社員数771)

2月8日は
衆議院議員総選挙

投票に行こう!!

2月11日(水・祝)は健友ネット集会 記念講演「食といのちと暮らし」は10時開演



記念講演 講師 鈴木宣弘氏

健友ネット集会とは？

尾張健友会グループの職員、友の会員、地域の人たちが集まり、「いのち、暮らし、平和、医療・介護・福祉」を学びあう集会です。

【講師による講演会】と【職員・友の会員の分散会】の2部構成です。

今年に入って新年早々1月2日、アメリカがベネズエラに侵略攻撃を行った。ニュースには驚きました。いわばアメリカによる他国への軍事支配ともいえます。そのような行為に対して我が国の首相は非難することもせず、国際社会の一員としての責任を果たそうとしていません。

こうした姿勢は、日本の食や安全保障の問題に對しても同様で、「今だけ、金だけ、自分だけ」という考え方が「国民のいのちやくらしを守る」という政府の本来の役割を見失わせているのではないのでしょうか。

鈴木氏には「食といのちと暮らし」をテーマにご講演いただきます。米騒動(米価の高騰)に対しても政府が適切な対応をしているとは思えません。米の生産者、消費者、両者のための政治が望まれます。

深刻な日本の食料問題

健友ネット集会は、今回で第35回を迎えます。今回の記念講演は、東京大学大学院特任教授・名誉教授で、日本の食料安全保障問題の第一人者である鈴木宣弘氏を講師としてお招きします。

健友ネット集会実行委員長 川瀬 ゆか
千秋病院 副医局長

今回の講演は、安全で安定した国内自給食材の確保について考える良い機会になります。

午後の分散会(2面に

ねこの手ネット設立20年 新しいボランティアのかたちへ

「ねこの手ネット」は、高齢者が地域社会で生活自立および社会活動参加により健やかに楽しくくらしを営む、日常生活の支援を行なうことを目的にNPO法人として設立され、満20年を過ぎました。活動を続けられた要因を挙げると、次のことが考えられます。

●日常生活の支援を必要とする人はこの地域にもたくさんいる
●それにこたえてくれる熱い思いを持ったボランティアがいる
●運営のカギを握る素



現在公的支援が終了し、財政活動の確立と新規ボランティアの確保が急務となっています。この2つを乗り越えることは避けて通れない課題ですが、少子高齢化社会の中で私たちのドア・トゥ・ドアの支援は、なくてはならない活動だと確信しています。

藤嶋 英治

第35回健友ネット集会

気づく 見つめる
いのち・くらし・平和

2月11日
(水・祝日)

入場無料

■開場 9:30
■開演 10:00
■会場 アイプラザ一宮大ホール
名鉄バス「一宮せんい団地」停留所から徒歩1分。
千秋病院からのシャトルバスあり(時刻表は2面に掲載)

主催 第35回健友ネット集会実行委員会
後援 一宮市、一宮市教育委員会
問い合わせ 尾張健友会 ☎0586-76-0003



ボランティア
アやNPOなど
どの知識もなく
出発して、20年の歳月を経ました。ど

初っ端は、岩倉での宅配弁当サービス「ひだまり」の失敗から始まりました。それから、ねこの手ネットが曲がりなりにも20年。オーストラリアに移住した知人が「ねこの手ネットを知った」と寄付をしてくれたり、がんに侵されても命尽きる数日前までボランティアを離れなかった人など、たくさんの感動があります。▼忘れないのは、ケアハウスに住む全盲の人が一人で埼玉県の大宮まで行き、警察に保護された時のこと。最終の新幹線で迎えに行ったものの宿泊場所がなく、警察署で仮眠させてもらいました。▼これまで江南市の市議会議員をはじめ、多くの団体や個人が「ねこの手ネットのような組織を」と訪ねてきました。現在の困難を乗り越えるには、「認定NPO法人」の取得など、新しい手法を取り入れる必要があります。▼ねこの手ネットは、新しい代表理事を迎え、新しい発想での運営も動き始めています。で、邪魔にならないようにと思っています。(え)